

みずほCustomer Desk Report 2016/08/23 号(As of 2016/08/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.62 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.55	1.1298	113.59	0.9613	1.3064	0.7605
SYD-NY High	100.94	1.1332	114.27	0.9649	1.3157	0.7640
SYD-NY Low	100.22	1.1271	113.41	0.9598	1.3034	0.7584
NY 5:00 PM	100.33	1.1321	113.59	0.9625	1.3138	0.7628
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.1/14.625		△25RR	1.035	Yen Call Over	

NY DOW	18,529.42	▲ 23.15	債券市場	日本2年債	-0.2030	▲0.2bp
NASDAQ	5,244.60	6.23		日本10年債	-0.0600	1.8bp
S&P	2,182.64	▲ 1.23		米国2年債	0.7378	▲0.8bp
日経平均	16,598.19	52.37		米国5年債	1.1348	▲2.9bp
TOPIX	1,303.68	8.01		米国10年債	1.5424	▲3.6bp
シカゴ日経先物	16,550	65.00	為替市況	独10年債	-0.0900	▲5.8bp
ロンドンFT	6,828.54	▲30.41		英10年債	0.5600	▲5.9bp
DAX	10,494.35	▲50.01		豪10年債	1.9050	4.5bp
ハンセン指数	22,997.91	60.69		USD/CNH	6.6612	0.0051
上海総合	3,084.81	▲23.30		ドルインデックス	94.54	0.03
USDJPY 3M Vol	13.04	0.08%	商品市況	CRB指数	187.081	▲1.70
USDJPY 6M Vol	12.23	0.06%		NY金	1,343.400	▲2.80
EURJPY 3M Vol	11.94	0.17%		WTI	47.410	▲1.70
EURJPY 6M Vol	11.75	0.18%		Dubai Spot	46.76	▲1.08

東京	前週末20日の本邦某新聞社インタビューにて、黒田日銀総裁が「総括的な検証を踏まえ、必要な場合には次回の金融政策決定会合で追加的な緩和措置を講じる可能性は十分ある」と発言したことが一部投機筋の中で円売り材料と捉えられ、週明けのドル円はキャップアップしてオープン。ナイト時間には一時100.90まで上昇するが、その後は利益確定売りから上げ幅を縮小させ100.29まで下落。しかしその後は買い戻しも入り、東京時間は100.55レベルでオープン。オープン後はドル買い優勢となる中で100円台半ばでは底堅さを見せるが、101円台手前では売り意欲も強く、一時100.94をつけるも101円を手前に上値重く推移。引けにかけても同レベルでの推移が続き、結局100.91レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は100円台後半から半ばへ軟調推移となった。朝方は100.91レベルでオープン。主に米長期金利の低下を背景にドルが全般的に弱含む展開となり、ドル円は100円台半ばまで下落し、100.53レベルでNYへ渡った。一方、朝方のポンドドルは1.3043レベルでオープン。直近のIMMポジションではポンドショートが7週間連続で増加し、史上最高水準を更新しているなか、ロンドン時間序盤は欧州株の出だしの堅調さ、ポジション調整によるポンドの買い戻しを受けてポンドが上昇。前述のドル安も相俟り、ポンドドルは1.30台前半から1.31丁度近辺まで上昇し、1.3102レベルでNYへ渡った。(ロンドンタイムズ 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円相場は100.53レベルでオープン。週末のフィッシャーFRB副議長の発言もあって、東京時間には100円台後半まで買い戻しが見られたドル円だったが、原油の下げ幅拡大や欧州の株安を背景に、じりじりと押し戻される展開となった。NY時間、ドル円は100円台半ば付近まで買い戻される場面も見られたが、短期筋からの売りオーダーも確認され上値重く推移。ただし100円割れを試す気配は見られず、次第に取引開散となる中、100.33レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1306レベルでNYオープン。海外市場ではドルの買い戻しからユーロドルは下落したが、市場の米早期利上げに対する信頼感は薄く、NY市場ではユーロドルの買い戻しが優勢となり一時1.1331まで上昇した。しかし、ユーロは対ポンドで軟調に推移し、ユーロドルも次第に上値の重さを見せる中、1.1321レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:尾身・橋

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月22日	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	7月	0.27	0.20
	21:30	加	卸売売上高(前月比)	6月	0.7%	0.1%

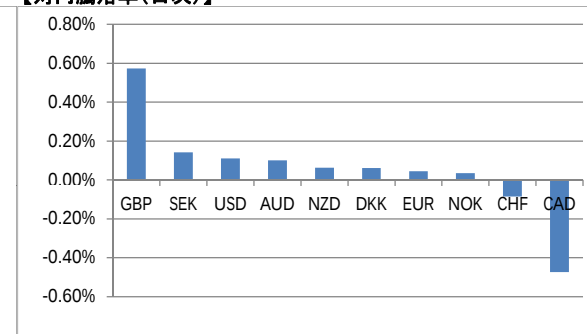
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月23日	16:00	仏	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月	48.8/50.5/50.4	48.6/50.5/50.1
	16:30	独	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月	53.6/54.4/55.1	53.8/54.4/55.3
	17:00	欧	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月	52.0/52.8/53.1	52.0/52.9/53.2
	22:45	米	製造業PMI	8月	52.6	52.9
	23:00	欧	消費者信頼感指数・1次速報	8月	-7.7	-7.9
	23:00	米	新規住宅販売件数	7月	580K	592K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.00-100.80	1.1250-1.1400	112.80-114.20

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は反落。東京時間の上昇分をすべて打ち消す形で100円台後半から再び100.30円付近まで下落した。目立った指標の発表やイベントの予定もなく材料に乏しい中、101円付近では売り意欲が相応にあり伸び悩んだことで再び100円台前半まで押し戻された格好だ。

本日は上値重い推移を予想。101円付近における上値の重さに加えて、本日発表予定の米指標は低調な結果が予想されていることから上昇しづらい相場展開となろう。